

財団設立20周年の“あゆみ”



平成29年3月

一般財団法人 山本清記念財団

～ 目 次 ～

財団設立20周年に寄せて 理事長 美野 健康	1
山本 清氏のプロフィール	2
財団設立20年のあゆみ	3・4
山本清記念財団の文化教室	5・6
山本清記念財団の建物概要	7・8
「宮っ子」で紹介された山本清記念財団 絵と文 伊藤 太一	9・10
山本清記念財団講演会一覧	11
山本清記念財団主催のイベントと入館者数の推移	12
写真でみる山本清記念財団	13・14・15・16
山本清記念財団の役員	17
編集後記 山本清記念財団スタッフ	18

～財団設立20周年に寄せて～

一般財団法人 山本清記念財団
理事長 美野 健康

山本清記念財団が設立20周年を迎えました。

山本 清・とみゑご夫妻のご遺志と、財団設立までの故村藤 進・故栗田 恒晴・宇梶 勝康氏の財団設立発起人としてのご努力が実を結び、ここに20周年を迎えられましたことは大変喜ばしく感慨深いものがございます。

また財団設立に当たって藤井 京子氏より多額のご寄付を頂き、財団設立にご協力頂いたことに改めて感謝の意を表します。

旧山本家住宅は昭和13年に建てられた阪神間モダニズムの建築物としても注目される和洋折衷の住宅です。建築主は鳥取県日野町根雨出身の実業家近藤 寿一郎氏で、設計は日本近代建築の父とも呼ばれる武田 五一氏の薫陶を受けた岡田 孝男氏（茶室研究家としても有名）です。

山本 清・とみゑご夫妻は昭和41年よりこの住まいに移り住んだ五代目の所有者でした。以来この住まいをこよなく愛し建築当時の設えを大切に守られました。没後この住まいを寄贈し、財団を設立し文化振興に役立てることは、子供に恵まれなかったご夫妻の強い希望でした。

財団事業である、建物の公開・美術工芸品の展示には年々多くの見学者が訪れ、マスコミで紹介されることも多くなり、カルチャーセンター等の団体見学も増えております。文化教室も8教室となり生徒数も80名を超えております。年に一度の西宮市民会館での講演会も多彩なテーマで開催されております。また隔年開催の文化祭、毎年4月に開催されるさくら祭には受講生の作品が展示され、お茶席ももうけられ賑わいを見せております。

このように年々発展を遂げ20周年を迎えた山本清記念財団で微力ではございますが、関係者の一人として大役を担って来れましたことを大変光栄に存じております。ここに改めて財団運営に関わって下さっております役員各位をはじめ、事務局の方々、皆様に心より感謝申し上げますと共に山本清記念財団の今後の更なる発展を祈念致しまして私のご挨拶とさせていただきます。

～山本 清氏のプロフィール～

大正9年3月、兵庫県津名郡（現 淡路市）東浦町谷24番地に父・山本 清民、母・すぎの三男として生まれる。

昭和20年復員後、神戸市で合資会社第一飲料を設立、戦後の荒廃から持ち前の気骨でいち早く立ち直り、ひたすら実業に励み成功を修めた。昭和22年12月とみゑ夫人と結婚。昭和30年4月に東京飯田橋で第一飲料株式会社を経営、昭和31年5月には東京丸の内丸の内食品株式会社を経営。平成6年12月26日死去（享年74歳）まで会社経営に携わった。氏はかねてより故郷兵庫県の文化振興に思いを馳せており、遺言書に基づき西宮市結善町の邸宅を提供、平成9年3月、氏の遺志に賛同する人達によって財団設立の認可を得、山本清記念財団の設立に至った。

山本 清・とみゑ（平成3年死去）夫妻は故郷東浦の海に見える丘で永遠の眠りについていきます。



山本 清氏



とみゑ夫人

～財団設立 20 年のあゆみ～

- | | |
|---------------------|--|
| 平成 6 年 12 月 26 日 | 山本 清氏死去 |
| 平成 7 年 1 月 17 日 | 阪神大震災が起こる
西宮市で甚大な被害発生、死者 1,146 名
倒壊家屋 61,238 件、近隣でも多数の家屋
が倒壊した。旧山本家住宅も屋根瓦、上
下水道排管、玄関ステンドグラス、内階
段（後に閉鎖）、壁面等に亀裂の被害はあ
ったものの躯体への被害は免れた |
| 平成 7 年～ | 山本 清氏の遺言に基づき財団設立に向
けての取り組みが始まる |
| 平成 9 年 3 月 31 日 | 財団法人 山本清記念財団設立が認可さ
れる（兵庫県教育委員会） |
| 平成 17 年 10 月 9・10 日 | 第 1 回文化祭開催（以後隔年開催） |
| 平成 18 年 3 月 15 日 | 山本清記念財団のホームページを開設 |
| 平成 18 年 6 月 | 茶室改修工事実施 |
| 平成 19 年 9 月 | 国登録有形文化財に登録（文化庁）
（登録担当：兵庫へリテージマネージャー
阪神支部 山崎 誠氏・藤原 義照氏） |
| 平成 20 年 6 月 | 山本清記念財団「旧山本家住宅」のパン
フレット&入館券作成
撮影・編集：風間 秀夫氏（当財団デジカ
メ教室講師） |
| 平成 21 年 1 月 17 日 | 文化庁の事業の一環としてへリテージマ
ネージャーによる地域登録有形文化財の
安全活用の為の耐震診断の結果、旧山本 |

家住宅の耐震安全性が確認された

平成 21 年 4 月 5 日

西宮市さくら祭に協賛し初参加
(以後毎年参加)

平成 22 年 3 月

「ひょうごの近代住宅 100 選」に選定される

平成 23 年 9 月

西宮市より都市景観形成建築物の指定を受ける

平成 25 年 4 月 1 日

一般財団法人への移行手続き完了
(公益法人制度の改革に伴い役員会で検討の結果一般財団への移行申請を決議、申請を行った)

20年の歩みの中でも最も大きな転換期となったのは平成19年9月の国登録有形文化財への登録でした。記念館としての形式を整え、パンフレット作成、見学者に全館（一部非公開）を公開できるよう展示室の模様替え、今まで閉鎖していた茶の間・寝室（2F 洋室）・神棚の間の整理を行いました。

茶室改修に伴い茶室の貸し出しを開始し大小様々な茶会に利用されるようになりました。またこれに伴いNHKカルチャーセンター、朝日カルチャーセンター、各自治会、歩こう会、旅行社等の団体見学、新聞社、TOKKU、神戸っ子等の取材も受け、阪神間での認知度が高まりました。

夙川カトリック教会・浦邸・松山大学温山記念館などと共に見学コースに組み込まれることも多くなり、平成28年10月にはラジオ関西のラジオウォークのコースにも選ばれました。

～山本清記念財団の文化教室～

- 平成 9 年 日本画・版画・書道・茶道・華道の募集を始める
- 平成 11 年 3 月 募集するが受講者の無い状態が続く
- 平成 11 年 9 月 日本画教室開講（講師：栗村 浩史）
- 平成 11 年 9 月 書道教室開講（講師：中田 淳石[フミ]）
平成 13 年 11 月～（講師：清水 紅蘭[満代]）
- 平成 12 年 5 月 版画教室開講（講師：岸本 明）
平成 25 年 5 月～（講師：田中 仁）
平成 25 年 11 月～（講師：今枝 健治）
- 平成 15 年 11 月 茶道教室開講（講師：中田 宗里[フミ]）
平成 20 年 4 月～ 休講
- 平成 19 年 4 月 俳句教室開講（講師：品川 鈴子）
平成 26 年 6 月～（講師：澤井 洋子）
- 平成 19 年 6 月 デジカメ教室開講（講師：風間 秀夫）
- 平成 20 年 9 月 短歌教室開講（講師：中川 昭）
- 平成 24 年 8 月 茶道教室再開（講師：河盛 宗美[美作子]）
- 平成 27 年 9 月 古典文学教室開講～源氏物語を読む～
（講師：王藤内 雅子）

*文化教室開催は美術工芸品の展示・文化講演会の開催と並ぶ山本清記念財団の事業の一つですが、設立当初その運営はなかなか軌道に乗らず受講生も少なかったようです。平成 28 年現在では 8 教室となり、受講生は 80 名を超えています。

文化教室 ご案内

国登録有形文化財

一般財団法人 山本清記念財団
〒662-0037 兵庫県西宮市結善町 1-24
Tel&Fax 0798-73-6677
E-mail:info@yama6677.jp
http://www.yama6677.jp

書道教室

受講日 第2・4水曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月・材料費 1,000円/月
講師 清水 紅蘭

短歌教室

受講日 第1・3水曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月
講師 中川 昭(現代歌人協会会員)

日本画・水彩画教室

受講日 第1・3火曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月
講師 栗村 浩史

デジカメ教室

受講日 第2・4火曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月・材料費 1,000円/月
講師 風間 秀夫

茶道教室

受講日 第1・3土曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月・材料費 1,500円/月
講師 河盛 宗美(裏千家)

俳句教室

受講日 第1・3金曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月
講師 澤井 洋子(兵庫県俳句協会会長)

古典文学教室

受講日 第1・3火曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月
講師 王藤内 雅子

【原文で読む源氏物語
途中参加歓迎】

版画教室

受講日 第2・4土曜日
時間 PM1:00~3:00
受講料 2,000円/月
講師 今枝 健治



- *対象は兵庫県民 各教室 10名程度
- *入会金は各教室共無料
- *入会ご希望の方は、ご連絡の上一度ご見学下さい。
- *満席の教室をご希望の方は登録して頂ければ空きが出来次第ご連絡致します。

～山本清記念財団の建物概要～

1. 住 所 兵庫県西宮市結善町1番24号
2. 建物用途 記念財団会館（旧住宅）
3. 設 立 昭和13年（1938年）
4. 設 計 岡田 孝男（1898～1993年）
5. 構 造 木造一部RC造
6. 敷地面積 1200 m²
7. 建物面積 654.8 m²
8. 建 築 主 近藤 寿一郎（1880～1958年）
9. 施 工 笠谷工務店(芦屋市)



国登録有形文化財プレート

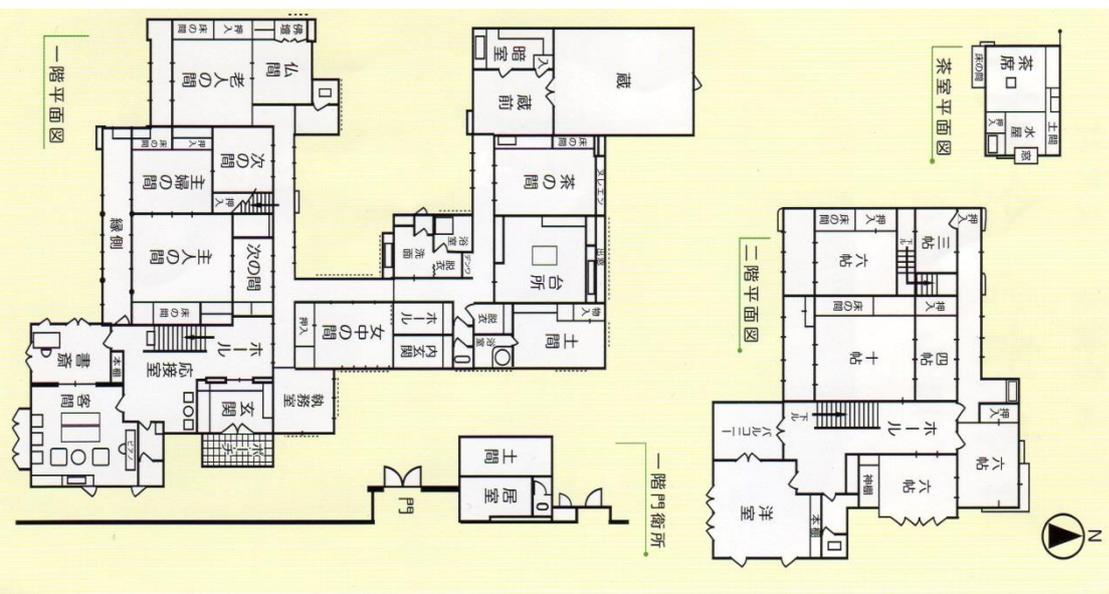


ひょうご近代住宅100選



西宮市都市景観形成建築物

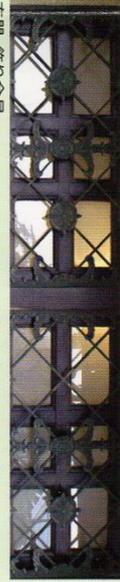
旧山本家住宅 見取り図



庭・外観



二階から見た庭



玄関 獅子金具



鉄平石を敷いた石畳



主屋（南側外観）

ねじり手すりの

1F

一階・階段手すり



一階・南縁側



一階・書斎



一階・茶の間

茶室



不味流茶室



水屋



天井

2F

蔵の扉（非公開）



二階・ホール



二階・洋室



二階・湯沸かし器



ぶらり
見てある記
パート5

ええとこ西宮 (51)

山本清記念財団

旧山本家住宅

所在地

西宮市結善町1-24

阪急神戸線夙川駅より北東へ徒歩約12分

阪急甲陽線苦楽園口駅より徒歩約7分

開館時間 10時～16時 (入館は15時まで) JRさくら夙川駅より徒歩約12分

休館日 日・月曜・祝祭日

TEL・FAX 0798-73-6677

入館料 200円

見学ご希望の方はご連絡の上ご予約下さい。

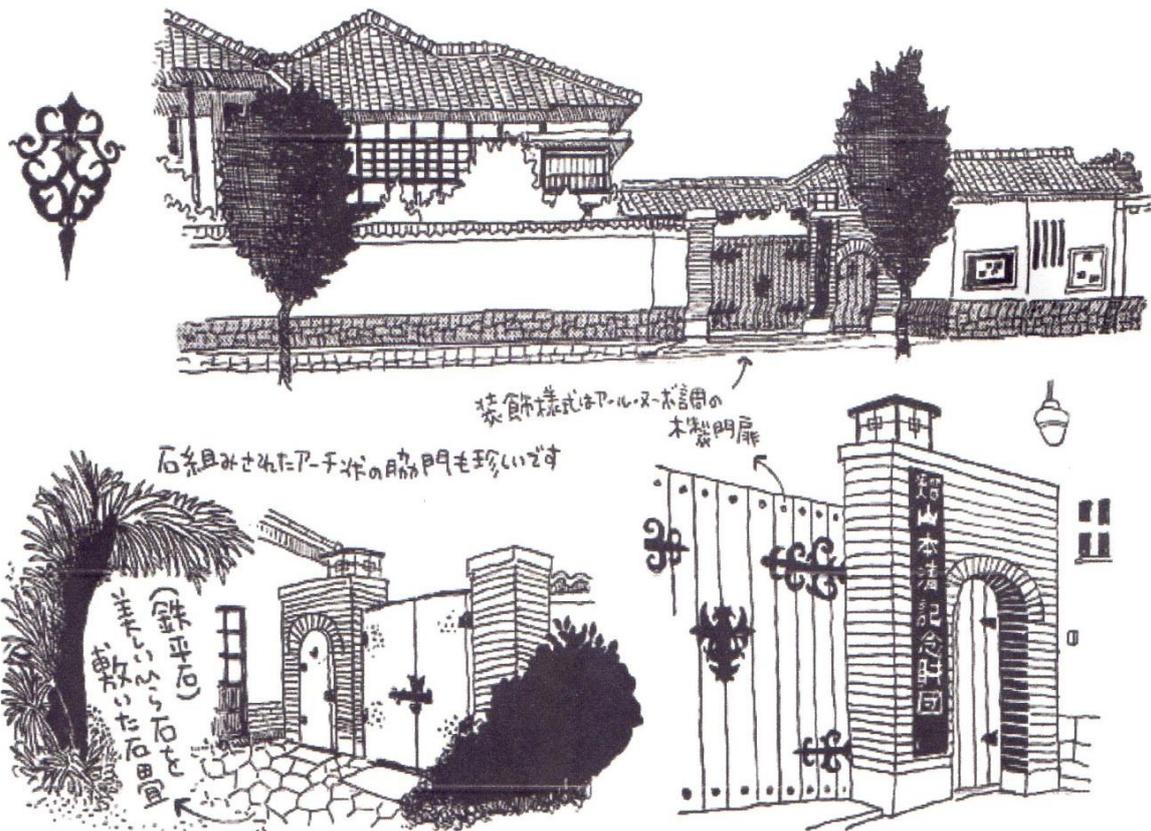
国登録有形文化財(文化庁)指定

ひょうごの近代住宅100選



昭和初期の阪神間モダニズムの上質気品の香りが漂う住まい……

正面が目をめぐる。和洋折衷の工夫がされた昭和13(1938)年に建てられた歴史を感じる建物(住宅)
(木造2階建)



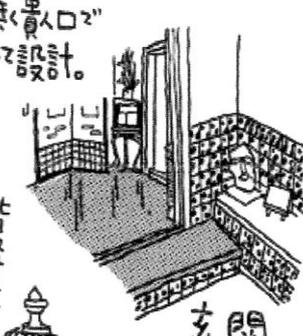


日本庭園には、^{本邸本}風流な虫喰い柱、新時代編み、掛け込み天井の茶室があります。
 月影の石灯ろう、木立、梅の木などのアングルに足を止めます。



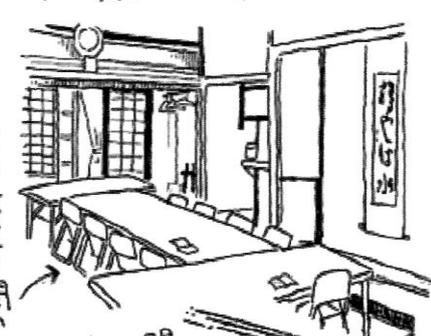
コルクシヨンの
 共栄道具を中心に漆器、絵画など展示してあります。

設計は茶室研究者として知られる
 岡田孝男氏(1898~1993)。
 "にじり口は無く、貴人ロゼ"
 "不味流"と設計。



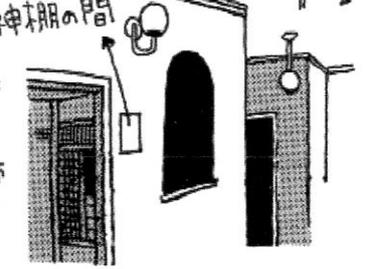
一階

文化教室も開かれています



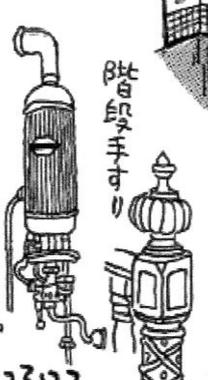
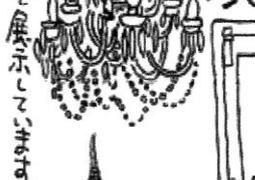
神棚の間

二階

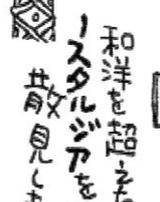


玄関

山本清氏 大正9(1920)年現 淡路市
 生れ。昭和20年復員後、飲料食品
 会社設立、経営に携わる。
 上記の文化財振興に寄与される。



階段の手すり



和洋を隔てた
 スタイル感を
 兼ね見せました。



絵と文 伊藤太一

～山本清記念財団の講演会一覧～

回	テーマ	講師名	年月日
第1回	美術と音楽「視覚と聴覚の関係」&ハープの演奏	雨田 光示 (ハープ演奏家)	平成 11 年 8 月 1 日
第2回	「伝統の関西弁と新興の東京語」	塩原 慎次郎 (元NHKアナウンサー)	平成 12 年 6 月 4 日
第3回	生きる力～支え合う心～	西本 山治 (関西学院大学講師)	平成 13 年 5 月 20 日
第4回	「70歳の挑戦」 ～ヨットで単独無寄港世界一周～	鹿島 郁夫 (ヨットマン)	平成 14 年 4 月 14 日
第5回	「七宝焼に魅せられて38年」 ～七宝焼きの歴史と現状、その魅力を探る！～	土田 善太郎 (七宝焼き作家)	平成 15 年 5 月 18 日
第6回	『松本正雄のガラスの「史」』 ～ご存知ですか、ガラスのこんなこと～	松本 正雄 (ガラス工芸家)	平成 16 年 5 月 9 日
第7回	野の花をいける	浅野 ふみ (野の花あそび主宰)	平成 17 年 4 月 24 日
第8回	健康と声の改造法	西川 そごう (音楽評論家)	平成 18 年 4 月 23 日
第9回	王朝の女たち ～か弱くてしたたかな平安女性の恋絵巻～	鈴木 紀子 (橘大学教授)	平成 19 年 4 月 22 日
第10回	古典文学から現代詩へ時空を超えて語りませか？ 川村 もう一度詠んでみたい百人一首 源氏物語より「桐壺」 福永 詩を書き続けて今～自作詩の朗読を交え～	川村 芙美 (古典の語り部) 福永 祥子 (詩人)	平成 20 年 6 月 8 日
第11回	高須英輔の木と造形「蘇生組積」 ～かつて生命のあった木を素材に～	高須 英輔 (彫刻家)	平成 21 年 5 月 31 日
第12回	「茶」でひも解く日本文化の特質 ～「茶」を考察することで、日本の文化をさぐる～	北里 桂一 (元 大阪芸術大学教授)	平成 22 年 6 月 6 日
第13回	お話と三味線の会 津軽・その光と影・歴史と文化	高橋 丹山 (竹山流津軽三味線演奏家)	平成 23 年 5 月 1 日
第14回	「西宮芦屋」ゆかりの歌舞伎俳優	河内 厚郎 (文化プロデューサー)	平成 24 年 10 月 7 日
第15回	世界に誇るムラカミ文学を醸し出した西宮の風景 ～西宮で育った村上春樹、その作品の原風景をさぐる～	小西 巧治 (西宮芦屋研究所副所長)	平成 25 年 9 月 29 日
第16回	世界に誇れる日本料理 ～日本の食と文化～	近藤 一樹 (料理研究家)	平成 26 年 9 月 14 日
第17回	南さんの天気予報 ～知っているようで知らない天気予報～	南 利幸 (気象予報士)	平成 27 年 9 月 27 日
第18回	薬膳ライフのすすめ ～冷蔵庫にある食材で未病を改善する～	池田 哲子 (全日本薬膳食医 情報協会理事)	平成 28 年 10 月 23 日

会場: 西宮市民会館4F 中会議室

曜日: 日曜日

定員: 100 名 入場無料

時間: PM1:00～PM4:00 の間で 1 時間半～2 時間

～山本清記念財団主催の イベントと入館者数の推移～

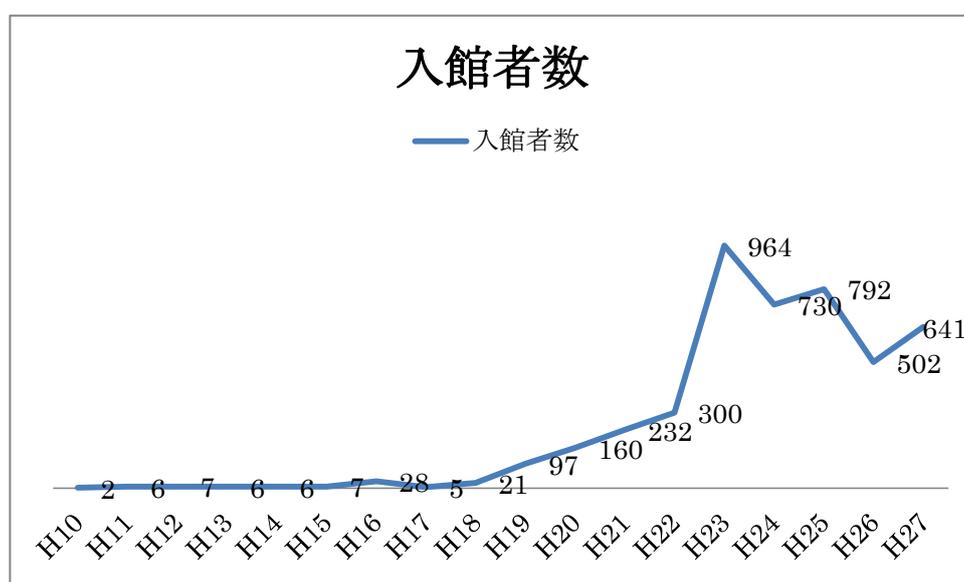
平成 10 年より館内公開事業を行っていましたが、下記グラフに見るように、平成 19 年国登録有形文化財の登録を境に入館者数が大きく増加しています。国登録有形文化財の登録後、従来未公開であった部屋を整理し、全館を公開しました（一部非公開）。

***開館時間：10:00～16:00 休館日：日曜・月曜・祝日 入館料：¥200**

平成 17 年 10 月第 1 回の文化祭（当時の教室数は 4 教室）を開催、各教室の作品展示・お茶席（茶道教室による）・館内公開を行ない（入館料無料）、以後隔年ごとに開催しています。

また西宮市・観光協会主催のさくら祭に平成 21 年より毎年参加、各教室の作品展示・お茶席（茶道教室による）・館内公開に加え毎年ミニコンサートを開催しています。（要入館料¥200）

平成 18 年 6 月の茶室改修工事に伴い茶室貸出を開始。10 数名の小規模茶会～100 名以上の大茶会にも貸し出しています。



講演会
(西宮市民会館)



南さんの天気予報 2015.9



さくら祭



ジャズコンサート 2015.4



弦楽二重奏 2016.4



まちたび西宮
茶道体験





銅製 吊り灯籠



庭の水道



臭気抜き



インターフォン



長火鉢



ガス湯沸かし器



カーテンレール



階段のねじり棒



寝室のシャンデリア



マントロピース
網代模様のタイル



お雛様
大正十五年



襖 唐紙



両面使い桐箆笥



襖 唐紙



～山本清記念財団の役員～

<設立者故山本 清遺言執行者>

村藤 進（故人）・宇梶 勝康・栗田 恒晴（故人）

<歴代理事長>

藤本 浩吉 平成9年～

三野 福男 平成11年6月～

森崎 正雄 平成13年6月～

美野 健康 平成18年4月～現在に至る

<設立時役員（平成9年）>

理 事 長 藤本 浩吉

常務理事 栗田 恒晴

理 事 春日井 明・中田 フミ・奈良橋 善司・渡邊 昌夫

評 議 員 村藤 進・岸本 明・新治 三代子・栗村 浩史・

足立 博子・田中 幹夫・三野 福男・福田 暢子

監 事 宇梶 勝康・指田 文雄

<現在の役員>

理 事 長 美野 健康

常務理事 栗田 彰夫

理 事 風間 秀夫・澤井 洋子・河盛 美作子

評 議 員 北里 桂一・栗村 浩史・清水 満代・中川 昭・

今枝 健治

監 事 宇梶 勝康

編集後記

20年前、故山本 清氏の遺志により産声をあげた山本清記念財団が今年成人式を迎えました。

その記念に、財団設立20年の“あゆみ”を作成致しました。

財団は建物の公開・文化教室の運営・年に一度の講演会の開催を主な事業として発足しましたが、その“あゆみ”は必ずしも平坦な道のりではありませんでした。

スタッフは学芸員の資格も無く、財団の運営に携わった経験も無いものばかりです。そんなスタッフが試行錯誤を重ねながら育てた財団が、今年立派に成人式を迎えました。

建物の見学・文化教室・文化祭やさくら祭に多くの方々を迎えるようになった旧山本家住宅を私たちは心から誇らしく思っています。

支えてくださった役員の皆様・教室の講師の先生方・受講生の皆様・見学に来て下さる皆様のお蔭と心より感謝申し上げます。

今後ともご支援の程、宜しく願い申し上げます。

平成 29 年 3 月

スタッフ：橋本 啓子・佐藤 啓子・山崎 照美・吉永 美奈子





1997~2017

編集・発行

国登録有形文化財

一般財団法人 山本清記念財団

〒662-0037 兵庫県西宮市結善町 1-24

Tel&Fax 0798-73-6677